



Team石川



小中一貫CSだより第96号 令和6年3月25日 文責：千葉 暁生
めざす子ども像(15歳の姿)：自己の健康管理・安全管理に努め、文武両道に根気強く取り組む子ども

巣立ちの時、令和5年度 卒業証書授与式



8日(金)、石川中学校第77回卒業証書授与式が、石川中学校体育館において行われました。卒業証書が手渡された後、校長式辞として、「全力を尽くす、心の習慣を日頃からし、なりたい自分に向かって高校生活を楽しむこと」を、祝辞として、白戸 理行 PTA会長より、「失敗から立ち上がること。友情を育み、困難に立ち向かうこと、目標に向かって努力したこと。それがこれからの歩む道に必要な力になる」という言葉が送ら

れました。これに続き、2年生 内山 花恋さんが、卒業生への感謝と伝統を引き継ぐ決意の気持ちが込められた送辞を、3年生 相馬 綾那さんが、お世話になった方々への感謝の気持ちと、修学旅行や石中祭の出来事と3年間の当たり前前に過ごした日常の尊さを答辞で話しました。仲間へ、また、恩師へ一人一人語りかけるなど、感動的な場面が続き、最後には、涙をこらえながらも卒業生は堂々と退場しました。



19日(火)には、小学校体育館において、石川小学校第143回卒業証書授与式が行われました。卒業証書授与に続き、校長式辞では、対馬 匠 校長が、鈴木 一朗 氏のエピソードから「中学校生活三年間では様々な経験をし、よい意味での自己満足と気づき、そして自信を積み上げていってほしい」と語りかけ、祝辞として、小田桐 尚輝 PTA会長より、合唱曲「旅立ちの日に」のエピソードから「一人では難しいこともあるけれど、これから

先、まわりの人と一つになることで、いろいろなことを成し遂げることができる」という言葉を送られました。また、卒業生と5年生による「卒業に寄せて」では、6年間の思い出やお世話になった方々への感謝、卒業にあたっての心構えの呼びかけの声が体育館に響きました。



石川地区の児童 29名と生徒 19名が、それぞれ次のステージに進みます。特に中学生は、義務教育を終え、自己実現に向けて更に広い世界に旅立ちます。地域の宝である子どもたちを温かく見守ってくださるよう、よろしくお願いたします。



令和5年度 弘前市立石川小学校 卒業記念 2024(R6).3.19

「いしかわ学園」教育自立圏推進プラン評価

(1) 評価項目	評価
① 課題に対する具体的取組は、成果がありましたか (プラン項目1)	3
② 組織の運営は、計画どおりに行われましたか (プラン項目2)	4
③ 三つの教育プランは、ねらいを達成することができましたか (プラン項目3)	3
「知」(授業づくり・集団づくりの共有)について	
「徳」(ひろさき社会学の実践)について	
「体」(健康教育の推進)について	3
④ 特色ある活動を計画し、ねらいを達成することができましたか (プラン項目4)	3
⑤ 各種活動の実施に際し、保護者・地域住民の積極的な参加協力がありましたか	4
総合評価(上記4項目の平均値)	自動計算⇒ 3.3

反省として、③「体」について、「工事中ということ」で、児童の運動量の確保するための方策を思案している。」⑤について、「環境整備活動、石中祭、フリー参観デーには多数の保護者の方が学校に足を運んだ。また、卒業式、入学式、書道教室、調理実習などでは地域の方の協力があり、助かっている。」な

どがあげられました。今年度の評価を生かし、今後も小中連携を深めてまいりたいと思います。

各活動の様子



3年生を送る会
中学校 3/6(水)

6年生を送る会
小学校 2/27(火)



生活科おもちゃ大会
小学校 3/18(月)



大清掃 小学校 3/1(金)

ディズニーオンライン研修
3/21(木) 2年生

小・中学校等複合施設 整備事業情報 No. 23

現在、新校舎はシートで覆われ、工事の進捗状況が謎に包まれています。完成まであと4ヶ月となりましたので、ちょっとだけ中の様子をのぞいてきました。

(左：アリーナ、右：職員室)

